

やす だ のほる
安田 登

能楽師（下掛宝生流：ワキ方）
寺子屋 講師（阿弥陀寺）
こどもおばけ合宿 講師”

主著に『論語』『あわいの時代』『あわいの時代の『論語』ヒューマン2.0』
『能 650年続いた仕掛けとは』他多数。

まつたときの聖人

枕石

「正信偈」の続き、なかなか書けませんが、今回もちよつと違う話をします。

親鸞聖人の「正信偈」は漢詩です。

阿弥陀寺さんの寺子屋でも何度か漢詩のお話をしていますが、私は漢詩が大好きです。漢詩というものは昔の中国の言葉で書かれた詩です。聖徳太子の飛鳥時代から日本人にも親しまれ、読むだけではなく、作る人もたくさんいました。

親鸞聖人が地方の布教の途中、大雪に遭います。そこで一夜の宿を乞うのですが、断られた、そんな親鸞聖人のことを思つた。

皆さまはいかがでしょ

うか。好きな漢詩、ありますか。

漢詩で有名なものといえば、まずは「春眠暁を覚えず」、いかがですか。

春のうららかな日。寝坊をするから夜明けなんて知らないよ、という詩です。「え、それ漢詩だつた？」という方もいるでしょう。そう、これ、漢詩なのです。

▼枕石の漢詩

今回は、親鸞聖人のことを詠んだ漢詩を紹介します。

作者は明治の人で、松口月城。熊本医学専門学校、いまの熊本大学医学部で医学を学び、なんと十八歳でお医者さんになつたという天才。医学のかたわら漢詩や書画もみだのくにより

北越寒風夜四更
門前臥雪若爲情
緇衣烈烈救世願
珠數琅琅念佛聲
さむくとも
袂に入れよ 西の風
みだのくにより
吹くと思えば
當時枕石今猶在
長仰南無六字城

漢詩ですが、途中に親鸞聖人の「さむくとも」の和歌が入っていますね。では、二行ずつ、書き下し文しながら読んでみましょう。

▼雪の中の聖人

北越の寒風夜四更
門前雪に臥す
若為の情ぞ

北越で布教の旅をしていた親鸞聖人は、民家に一夜の宿を乞うたのですが、拒まれます。大雪も降り、寒風も吹きすさぶ、

次回の二行です。

▼美しい念佛の声

次回の「珠数」は数珠のことです。それが「琅琅」となります。「琅琅」の左（王）は「玉偏」で玉という宝石がリンリン、

：と聞くと、この頃は「漢詩なんて知らない」という人が少なくあります。せん。

漢詩で有名なものといえば、まずは「春眠暁を覚えず」、いかがですか。

春のうららかな日。寝坊をするから夜明けなんて知らないよ、という詩です。「え、それ漢詩だつた？」という方もいるでしょう。そう、これ、漢詩なのです。

▼枕石の漢詩

今回は、親鸞聖人のことを詠んだ漢詩を紹介します。

作者は明治の人で、松口月城。熊本医学専門学校、いまの熊本大学医学部で医学を学び、なんと十八歳でお医者さんになつたという天才。医学のかたわら漢詩や書画もみだのくにより

北越寒風夜四更
門前臥雪若爲情
緇衣烈烈救世願
珠數琅琅念佛聲
さむくとも
袂に入れよ 西の風
みだのくにより
吹くと思えば
當時枕石今猶在
長仰南無六字城

漢詩ですが、途中に親鸞聖人の「さむくとも」の和歌が入っていますね。では、二行ずつ、書き下し文ながら読んでみましょう。

▼雪の中の聖人

北越の寒風夜四更
門前雪に臥す
若為の情ぞ

北越で布教の旅をしていた親鸞聖人は、民家に一夜の宿を乞うたのですが、拒まれます。大雪も降り、寒風も吹きすさぶ、

次回の二行です。

▼美しい念佛の声

次回の「珠数」は数珠のことです。それが「琅琅」となります。「琅琅」の左（王）は「玉偏」で玉という宝石がリンリン、

：と聞くと、この頃は「漢詩なんて知らない」という人が少なくあります。せん。

漢詩で有名なものといえば、まずは「春眠暁を覚えず」、いかがですか。

春のうららかな日。寝坊をするから夜明けなんて知らないよ、という詩です。「え、それ漢詩だつた？」という方もいるでしょう。そう、これ、漢詩なのです。

▼枕石の漢詩

今回は、親鸞聖人のことを詠んだ漢詩を紹介します。

作者は明治の人で、松口月城。熊本医学専門学校、いまの熊本大学医学部で医学を学び、なんと十八歳でお医者さんになつたという天才。医学のかたわら漢詩や書画もみだのくにより

北越寒風夜四更
門前臥雪若爲情
緇衣烈烈救世願
珠數琅琅念佛聲
さむくとも
袂に入れよ 西の風
みだのくにより
吹くと思えば
當時枕石今猶在
長仰南無六字城

漢詩ですが、途中に親鸞聖人の「さむくとも」の和歌が入っていますね。では、二行ずつ、書き下し文ながら読んでみましょう。

▼雪の中の聖人

北越の寒風夜四更
門前雪に臥す
若為の情ぞ

北越で布教の旅をしていた親鸞聖人は、民家に一夜の宿を乞うたのですが、拒まれます。大雪も降り、寒風も吹きすさぶ、

次回の二行です。

▼美しい念佛の声

次回の「珠数」は数珠のことです。それが「琅琅」となります。「琅琅」の左（王）は「玉偏」で玉という宝石がリンリン、

リンリンと美しく鳴る音で、これは数珠の音とともに、親鸞聖人の念佛の声であります。美しいお声だったのでしょうかね。

です。

▼極楽からの風

ここで親鸞聖人の和歌が挿入されます。

袂に入れよ 西の風

さむくとも

吹くと思えば

やはり和歌はわかりやすいですね。意味がすんなりと入ってきます。

西の風は確かに寒い。しかし、それを拒まず袖に入れよう、と詠います。なぜなら西の風は阿弥陀様の御国、西方淨土から吹いてくる風だからと思うから。

おお、なるほど！

これから、西から冷たい風が吹いて来たら「あ、阿弥陀様のお淨土からの風だ」と思いましょ。ちなみに北風の北方は弥勒菩薩の淨土、兜率天

御所の守護などにあたつた武士です。

罪を得て、この地に流されていましたが、ある雪の夜に当地を訪れた親鸞聖人に一夜の宿を乞わ

す。そして、最後の二行で

当時の枕石 今猶在り

長く仰ぐ 南無六字城

「当時の枕石 今猶在り」というのは、降雪、寒風の中で親鸞聖人が枕にしたという枕石が、まだあるということです。

左衛門は暖かい家の中で寝るのですが、薄暗い竹やぶで自分が一羽の鶏

を生きたまま羽むしりにしているという夢を見てうなされます。

心配する妻に彼は夢を語ります。

丸太に鶏を押さえつけ、羽を一本ずつ抜き、鶏が苦しんで鳴く声に、夢の中の左衛門はむしろ残酷な快感を覚える。そこへ妻であるお兼が現れ、「鳴かせるのはやめて」と頼むので、今度は鶏の首をねじつて黙らせようとするが、毛の抜けた鶏はまだ走り出す。

やがて左衛門は鶏の首を包丁で切ろうとして、地面に押さえつける。そ

の時、鶏と目が合い、訴

えるような鳴き声を聞い

は日野左衛門という猟師としています。

それを聞いて驚いた左衛門は「あなたも罪人ですか」と問うと、親鸞聖人は言います。

自分が殺される側となつて悲鳴を上げる左衛門を、「鶏つぶし」の男が冷然と見下ろしている。

そのとき彼は、前世で自分が山中で旅の女を脇差で殺した記憶を突然思い出します。

今、鶏として味わつている恐怖と哀願の声は、そのときの女の泣き声の「報い」と感じます。

地獄だ」と感じる。屠殺者の包丁がいつ落ちるか分からぬ恐怖の中でもなされて目が覚め、思い出すだけでも魂の底が冷えるような悪夢だったと震えながら妻に語るので

親鸞聖人は左衛門に別れを告げ、「私はあなたがたを忘れません。別れていてもあなたがたのために祈ります」というと、左衛門も「私もあなたを一生忘れません。あなたのために祈ります」と言

う。第一幕が終わります。

本戯曲は罪深く、さびしく、愛欲に揺れる人間

が、そのまま仏の慈悲に包まれるまでの物語です。

ぜひ、続きを読むお読みく

ださい。台本ですから、何人かと役を割り振つて朗読するのも楽しいと思

おり、続編もお読みく

ださい。台本ですから、何人かと役を割り振つて朗読するのも楽しいと思

います。

そこでは宿を断つたの

とこころがこのお話、倉田百三」という人が『出家

とその弟子』という戯曲（劇の台本）の中にも書いています。この話は第一幕にあります。

実はこの枕石寺を建てたのが、親鸞聖人に宿を断つた男だと言われています。名前は道円。出家する前は武士でした。北

面の武士といつて上皇の

▼枕石寺

当時の枕石がまだあるん世の中の人々は長く仰いでいる、そう締めます。

お寺の本尊は、水戸黄門様、徳川光圀公が寄贈した阿弥陀如来で、寺宝として親鸞聖人の御真筆とされる六字名号、大心海の文字が刻まれた、親鸞聖人が横たえたという枕石が所蔵されています。

に、この枕石が遺跡としてあります。

実はこの枕石寺を建てたのが、親鸞聖人に宿を

断つた男だと言われています。名前は道円。出家する前は武士でした。北

面の武士といつて上皇の

▼出家とその弟子

ところがこのお話、倉田百三」という人が『出家

とその弟子』という戯曲（劇の台本）の中にも書いています。この話は第一幕にあります。

実はこの枕石寺を建てたのが、親鸞聖人に宿を

断つた男だと言われています。名前は道円。出家する前は武士でした。北

面の武士といつて上皇の